

平成13年度当初予算 基本事務事業目的評価表

基本事務事業名] 自然体験の場の提供事業 (301)
評価年月日] 平成12年11月14日
担当部課名] 環境部 自然環境課
記入課名・課長名・電話] 自然環境課・課長 木平悦生・2580

1 総合計画の政策体系上の位置づけ

政策 : 自然との共生の確保 (Ⅲ-1)

施策 : 良好な自然環境の活用 (3)

総合計画の目標項目 : -

波及効果・副次的効果を及ぼすと考えられる施策 : 生涯学習の推進

2 基本事務事業を巡る環境変化 過去、現状、将来)

自然志向の高まりと相まって、自然とのふれあいに対する県民のニーズは大きくなってきている。
今後、より身近で健康的な余暇を過ごす欲求が高まるとともに、余暇活動の場として森林・自然
へのニーズが増大する。

3 基本事務事業の目的と成果

3-(1) 対象と意図 何をどういう状態にしたいのか)

県民に対して、自然にふれあう機会、場を提供することにより、自然の大切さ、素晴らしさを
理解してもらい、自然環境の保護思想を高める。

3-(2) 成果指標名・成果指標式 総合計画の目標項目には＊を付す)

自然ふれあい度
$$\frac{\text{参加者数}}{\text{県民人口}}$$

②変更した場合の成果指標名・成果指標式

3-(3) 設定した成果指標に関する説明 指標動向に影響する要因、指標の有用性、設定の理由など)

多くの県民に対して、自然の大切さ、素晴らしさを理解してもらうため、三重県民の森、三重
県上野森林公園の利用者数を高めることとする。

3-(4) 結果 施策における2010年度の目標)

県民の森の整備をすすめ、自然とのふれあいや学習の場を提供する。

4 基本事務事業の評価

4-(1) 前年度(11年度)における基本事務事業の結果評価

①前年度に行った内容と成果

三重県民の森、三重県上野森林公園について、施設の維持管理を行うとともに、定期的な自然観察
会等の開催による施設の有効活用を図った。

②前年度に残った課題

ソフト事業の充実により、利用者の一層の増加を図る。

4-(2)本年度(12年度)における基本事務事業の見込み評価

①本年度行っている内容と本年度終了時に見込まれる成果

三重県民の森及び三重県上野森林公園について、園児・小学生や家族連れ、主婦層等を対象とした体験・活動型の自然環境学習を実施するなど、多くの利用者を見込んでいる。

②本年度残ると思われる課題

利用者の満足度を高めるためには、どのような事業が適しているか、更に研究を重ねることと、今後、地元 NPO やボランティアとの関係を深め、地域とのつながりの中で公園を管理・運営していくことが課題として残ってくる。

5 基本事務事業の改革方向

三重県民の森及び三重県上野森林公園における利用者の増加と地域とのつながりを深めるための施策の充実に努める。

6 成果指標値及びコスト等の推移

	成果指標値		総合計画 目標数値	予算額等 (千円)		必要概算 コスト(千円)
	目 標	実 績		所要時間 時間	時間	
前々年度 (H10年度)	0. 1 0	0. 0 8	—	3 1, 1 2 8	1, 6 7 0	3 8, 1 0 9
前年度 (H11年度)	0. 1 0	0. 0 8	—	2 9, 1 1 2	3, 0 4 1	4 1, 7 3 2
本年度 (H12年度)	0. 1 1	—	—	5 8, 2 6 8	6 7 0	6 1, 0 7 6
本年度補正後 (H12年度)	—	—	—	—	—	—
翌年度 (H13年度)	0. 1 2	—	—	5 8, 5 7 3	3 7 0	6 0, 1 2 4
計画目標年次 (H 年度)	—	—	—	—	—	—

7 翌年度(H13年度)の基本事務事業における事務事業戦略プランシート(PPM: Project Portfolio Matrix)

〈必要概算コスト： ☆5億円以上 ◎～1億円 ◇～5千万 △～1千万 ・1千万未満 *休止・廃止〉

基本事務事業の成果向上への貢献度合

直接的に貢献する

◇森林公園管理費 →
(三重県民の森管理費及び上野森林
公園管理費を統合)

間接的に貢献する

貢献度合の考慮外
～活動基盤となる
事務事業など

即効性(2年以下)

中期的(3年～5年)

長期的(6年以上)

効果発現までの期間

※ 各事務事業名の右に付した矢印は、それぞれの事務事業に対する力の入れ具合である「注力」の変化の方向を表している。

基本事務事業名：自然体験の場の提供事業

4 / 4

8 基本事務事業を構成する事務事業の詳細

※ 新規事務事業には、事務事業名に(新)を付す

[illegible]